

第49回全国育樹祭の大会テーマ等が決定

令和8年秋に本県で開催する第49回全国育樹祭の大会テーマ、ポスター原画について、6月から募集したところ、大変多くの応募をいただきました。

応募いただいた作品について、LINE投票や厳正な審査の結果、下記のとおり最優秀賞作品を選考し、大会テーマ等に決定しましたので、お知らせいたします。

最優秀賞に選定された作品は、今後、第49回全国育樹祭の広報等に広く活用させていただきます。

1 第49回全国育樹祭大会テーマ（最優秀賞）

育てて使おう 地球に優しい 緑の資源

作者：田上^{たがみ} 玲奈^{れいな} さん（和歌山市在住）

その他の受賞作品・受賞者については別紙1のとおり

2 第49回全国育樹祭ポスター原画（最優秀賞）

別紙2のとおり

作者：堀尾^{ほりお} 来菜^{らな} さん（和歌山市立和歌山高等学校2年）

優秀賞は田堀^{たほり} まつり さん（古座川町立三尾川小学校5年）

3 第49回全国育樹祭シンボルマーク

別紙3のとおり

全国育樹祭用の新たなデザインを第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会で制作

備考 後日、大会テーマとポスター原画の最優秀賞表彰式を執り行います

（連絡先）

農林水産部 森林林業局 森林整備課 全国育樹祭推進室

（第49回全国育樹祭和歌山県実行委員会事務局）

担当：小和田、大澤

電話：073-441-2578（内線2578）

別紙1 大会テーマ 選考結果

賞名	作品	受賞者名
最優秀賞	育てて使おう 地球に優しい 緑の資源	田上 玲奈 (和歌山市在住)
優秀賞	木の国から 大きく育て 育樹の輪	林 慈音 (田辺市在住)
優秀賞	育てよう 小さな緑 繋げよう 豊かな緑	平林 尋代 (新宮市在住)
佳作	樹の和 和みの森を未来へ 紀州木の国から	中岡 幸恵 (湯浅町在住)
佳作	和のころ 歌え山へと 育む緑	早津 誠宏 (大阪府堺市在住)
佳作	「恵みの森」 生きる木の国 いつまでも	廣畑 颯馬 (白浜町在住)

※優秀賞と佳作の並びは受賞者名のあいうえお順

※応募作品数：532



作品名：繋がる木

作者：堀尾 来菜（ほりお らな） 和歌山市立和歌山高等学校2年

制作意図：私たちが今植えていく木がいつの日か後ろにある木のように大きくなって地球を支えていくイメージで描きました。自然の豊かさを感じてもらうために光や色をよく考えて描きました。

※応募作品数：230

別紙3 シンボルマーク キノピー



2011年に和歌山県で開催した第62回全国植樹祭のシンボルマークであった「キノピー」を引き続き起用。スコップとコンテナ苗を手に持たせて、全国育樹祭用のデザインとした。

(参考) ロゴデザイン

